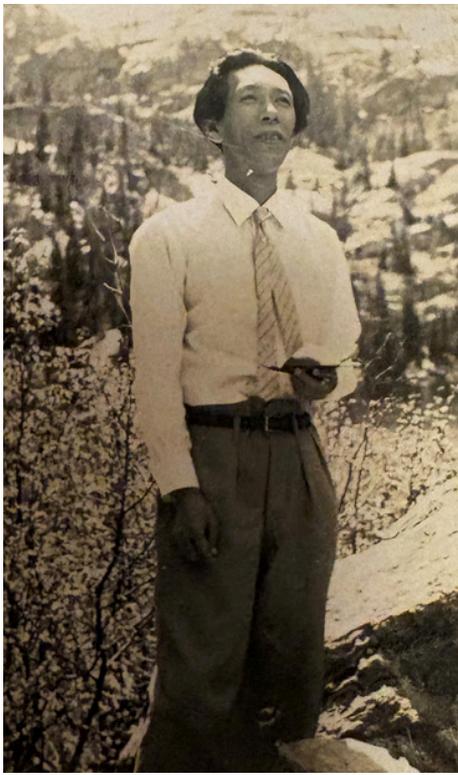


鹿児島県立図書館

椋鳩十生誕百二十周年第一期企画展

図書館長

椋鳩十



アメリカ視察中の椋鳩十（個人蔵）

展示構成

- 第1章 館長就任前の椋鳩十
- 第2章 図書館長 椋鳩十
- 第3章 館長退任後の椋鳩十

2025年  
9/18(木)  
-10/23(木)

会場

鹿児島県立図書館 ロビー

観覧料無料 休館日は9/22・25・29  
10/6・14・20

お問合せ 鹿児島県立図書館奉仕課企画指導係

TEL 099-224-9514 FAX 099-224-5824

本企画展は、児童文学作家であり、鹿児島県立図書館長を長きにわたって務めた椋鳩十（久保田彦穂）氏の生誕百二十周年を記念し、主に県立図書館長時代の功績について、様々な資料を基に紹介するものです。



県立図書館長時代の椋鳩十（個人蔵）



鹿児島県立図書館職員集合写真 前列中央が棕鳩十（個人蔵）

棕鳩十（久保田彦穂）氏は、1905年長野県下伊那郡喬木村阿島の酪農家の家に生まれました。旧制飯田中学校、法政大学を卒業後、鹿児島県の教員となり、1947年から約19年間、鹿児島県立図書館長を務めました。

鹿児島県立図書館長時代には、第二次世界大戦で崩壊した図書館機能の再建に尽力しました。県内の隅々にまで本を届けようという、のちに「鹿児島方式」とよばれる図書館ネットワークの構築や「農業文庫」の新設、奄美分館（現在の鹿児島県立奄美図書館）の創設、『母と子の20分間読書運動』の推進など、鹿児島県の読書振興に多くの功績を残しました。また、児童文学作家として、『大造じいさんとガン』や『片耳の大シカ』、『マヤの一生』など、動物を主人公とした多くの作品を執筆しました。鹿児島県立図書館長退任後は鹿児島女子短期大学教授を務め、1976年には勲四等旭日小綬章を受賞し、1987年に82歳で亡くなりました。

鹿児島県立図書館では、棕鳩十氏の生誕120周年を記念し、その功績と魅力を県内外に広く発信するため、本年度2回にわたって企画展を開催いたします。第一期は、主に県立図書館長としての棕鳩十氏を紹介します。

第1章 館長就任前の棕鳩十



法政大学時代（個人蔵）

棕鳩十氏の幼少期から法政大学在学時、加治木高等女学校在職時の資料を紹介します。

第2章 図書館長 棕鳩十



県立図書館長時代（個人蔵）

棕鳩十氏の県立図書館長時代の功績について資料で紹介いたします。

第3章 館長退任後の棕鳩十



鹿児島女子短期大学時代（個人蔵）

棕鳩十氏の館長退任後の鹿児島女子短期大学教授時代から晩年までの資料を展示します。



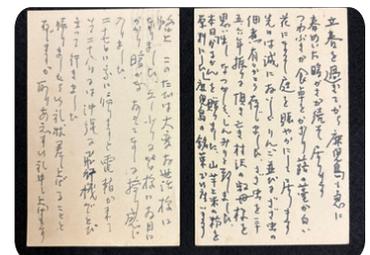
「大造じいさんと雁」

（長野県喬木村棕鳩十記念館蔵）



配本車すばる号写真

（鹿児島県立図書館蔵）



館長退任を知らせる葉書

（長野県喬木村棕鳩十記念館蔵）